

施策評価シート

登録者(課長)名【1】	スポーツ振興課長 等々力 優
主管課(関係課)【2】	スポーツ振興課

【施策の概要】

施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】	
創3-3 スポーツ・レクリエーション活動の振興		豊かな学び・文化が息づくために	創造性の育つまちづくり	
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】
	市民が日常的にスポーツ・レクリエーション活動に親しむためには、スポーツに触れあう機会を増やすことが必要です。そのために、スポーツ施設を確保するとともに、より効果的な施設、イベント運営体制についても検討する必要があります。そのため、NPO法人化した西東京市体育協会や指定管理者などとスポーツを活かしたまちづくりの検討を進める必要があります。		・地域におけるスポーツ活動の担い手の確保 ・スポーツを通じたまちづくりの実施	市民がそれぞれの体力や技術などに応じて、スポーツ・レクリエーション活動に親しめる機会・場所づくりをめざします。
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】			
◇平成23年8月からスポーツ基本法が施行され、スポーツを文化として位置付け、よりスポーツの推進を図ることが国の方針として出されました。 ◇平成25年度にはスポーツ祭東京2013(第68回国民体育大会・第13回障害者スポーツ大会)が開催され市民がよりスポーツとふれあう機会が増えます。				
事業群	事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】	
	1	スポーツ・レクリエーション活動を支援します	誰もが親しむことができる市民の生涯スポーツの推進	
	2	スポーツ環境の整備を進めます	市民の多様なニーズに応えるスポーツ施設の整備充実、国体の取組の推進	

【施策の成果】

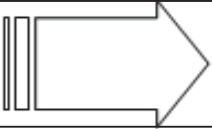



			年度	19	20	21	22	23	24	
成果指標【12】	指標1	名称	「スポーツ活動・イベント機会や施設整備の充実」に対する市民満足度	目標値	35%			単位	%	
		説明	西東京市においては近年、転入者の増加が見られ、市民のライフスタイルも多様化していると考えられます。これに対応するためにスポーツ・レクリエーション活動を促進する必要があります。平成24年度に実施する市民意識調査で把握します。	実績値	29.6	29.6	29.6	29.4	29.4	29.9
		算出式		達成率	85%	85%	85%	84%	84%	85%
	指標2	名称	総合型地域スポーツクラブ会員数	目標値	1,000人			単位	人	
		説明	地域に根付いたスポーツクラブを中心として、より多くの市民が参加しやすい機会の提供が必要です。特に、若年層から高齢者層までに利用しやすい環境づくりが重要です。	実績値	720	825	795	781	982	
		算出式		達成率	72%	83%	80%	78%	98%	0%
	指標3	名称	スポーツ施設利用者数	目標値	750,000人			単位	人	
		説明	市民のスポーツライフの充実のため、より良いスポーツ施設を提供することが望まれています。平成20年度からスポーツ施設の管理・運営を指定管理者が行っており、より多くの市民の方がスポーツを楽しむようになることを目指します。	実績値	585547	645543	757490	825093	795214	
		算出式		達成率	78%	86%	101%	110%	106%	0%
	指標4	名称		目標値				単位		
		説明		実績値						
		算出式		達成率						
達成率の平均値				78%	85%	89%	91%	96%	28%	

【市民意見】【13】

平成19年度		平成22年度		平成24年度	
満足度(%)	29.6%	満足度(%)	29.4%	満足度(%)	29.9%
満足度(平均ポイント)	0	満足度(平均ポイント)	-0.01	満足度(平均ポイント)	0.02
重要度(%)	65.8%	重要度(%)	65%	重要度(%)	64.8%
重要度(平均ポイント)	0.73	重要度(平均ポイント)	0.73	重要度(平均ポイント)	0.74

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】 <input type="checkbox"/> まだ未達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】 <input type="checkbox"/> 平均を下回る <input type="checkbox"/> ほぼ平均 <input checked="" type="checkbox"/> 平均を上回る	
検証項目	施策の成果と課題 (取組成果や目標達成に向けた課題、成果向上・コスト削減策等)【16】	◇総合型地域スポーツクラブの活動に関しては、平成23年4月に既存の総合型地域スポーツクラブ「にしはらスポーツクラブ」に加え、市内に2つ目の総合型地域スポーツクラブとして「ココスポ東伏見」が設立され、地域に根付いた取組の展開がされており、より多くの市民が参加しやすい環境整備が図られてきております。今後は、地域スポーツの推進とあわせ、それぞれの総合型地域スポーツクラブの安定した運営と活動支援及び会員のニーズへの対応が課題です。 ◇スポーツ・レクリエーション活動の支援に関しては、平成20年度から指定管理者制度を導入し、多様な市民ニーズに対応した誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツの実現に向けた施策を推進しています。 ◇スポーツ環境の整備については、スポーツ施設の老朽化に対応し計画的に改修を実施しております。平成23年1月1日に独立行政法人都市再生機構から、ひばりが丘団地スポーツ施設の移管を受け、市のスポーツ施設として運営を開始しました。施設整備を計画的に進めることで、利用者の満足度や利用者数を拡大していく必要があります。	
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】 <input type="checkbox"/> 弱くなっている <input type="checkbox"/> 以前と同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要性【18】 <input checked="" type="checkbox"/> 平均を下回る <input type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る	
検証項目	今後の方針 (具体的な事業群や事務事業を示しながら)【19】	◇スポーツ・レクリエーション活動の支援に関しては、さまざまな市民のニーズに応えるために、指定管理者が実施する教室事業の充実やスポーツ推進委員を活用した主催事業を行い、スポーツをするきっかけ作りに今後も寄与するとともに、総合型地域スポーツクラブの安定した運営と活動支援及び会員のニーズに応じた事業のバリエーションの工夫、既存施設の空き時間の有効活用などに取り組んでいきます。 ◇スポーツ環境の整備については、政策や利用者の安全確保など、優先順位をつけた計画的な施設整備により、スポーツ環境整備の向上を図ります。また、平成25年に開催予定のスポーツ祭東京2013は、市民がスポーツを楽しむ契機となることから、スポーツ祭東京2013開催に伴う普及啓発に積極的に取り組んでいきます。 ◇スポーツ基本法が制定され、スポーツの推進がより求められていることから、既存の事業を継続しながら、なお一層のスポーツ振興を図ります。	
総合評価	施策内容の方向性【20】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】 <input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化		
	施策実施方針【22】 VI コストを抑制しながら成果を維持すべき施策領域		

【一次評価後の事情変更等】

説明【23】	
--------	--

【行革本部評価】

総合評価	施策内容の方向性【20】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み	
	施策実施コストの方向性【21】 <input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化	
	判断理由等【24】 スポーツ・レクリエーション活動の振興については、平成23年6月にスポーツ基本法が公布されたこと、スポーツ祭東京2013（第68回国民体育大会・第13回障害者スポーツ大会）の開催が来年度に迫る中、スポーツに触れ合う機会を市において提供することの重要性は高まりを見せていると言えます。 一方で、市民意識調査における満足度が相対的に高いことを踏まえると、コスト面での効率化を進める必要があり、コスト効率化につながる検討を行うべきものと判断しました。	
施策実施方針【22】 VI コストを抑制しながら成果を維持すべき施策領域		

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
1	総合型地域スポーツクラブの育成、設立	スポーツ振興課	誰もがスポーツに親しむことのできる生涯スポーツの実現に向けた、地域におけるスポーツ環境の整備・充実を図るため、総合型地域スポーツクラブを設立しています。スポーツクラブでは、各種スポーツ教室及びスポーツ大会等の開催や、指導者・リーダーの確保と育成、他機関が開催する行事等への参加・協力などの事業を行っています。
	スポーツ振興事業の充実	スポーツ振興課	市のスポーツ・運動施設全12施設に指定管理者制度を導入し、各種スポーツ振興事業の充実を図ることを目的とする。
	少年野球教室、少年サッカー教室等の実施	スポーツ振興課	(スポーツ振興事業の充実で実施) 市のスポーツ・運動施設全12施設に指定管理者制度を導入し、各種スポーツ施設の充実を図ります。 現在指定管理者を活用した事業として実施しています。
	スポーツ推進委員の活用	スポーツ振興課	すべての市民が自分に合ったスポーツ・レクリエーションを親しめるように、地域のスポーツ活動に対し助言や連絡調整を行うとともに、市が行う事業にも協力し、スポーツ施策の充実を図り、市民の健康・体力の増進を図ることを目的とする。
2	ひばりが丘団地スポーツ施設の整備拡充に向けた調整	スポーツ振興課	ひばりが丘団地建替事業に伴うスポーツ施設の移管については、UR（都市再生機構）により整備拡充した上で市に移管される予定となっています。移管後は、管理運営を一体的に行うことによって施設の有効活用を図ります。これまでに野球場、テニスコート、管理棟の整備が完了し移管されました。今後、駐車場や公園等が設置される予定です。
	スポーツ施設の改修	スポーツ振興課	市民がスポーツ・レクリエーション活動を安全に行える場所を提供するため、老朽化の進んだスポーツ施設の計画的な改修を行います。
	東京国民体育大会に向けた取組	スポーツ振興課	平成25年スポーツ祭東京2013(第68回国民体育大会)の大会運営の習熟及び検証を目的に、今年度リハーサル大会を実施します。
	和弓道場のあり方について調査・研究	スポーツ振興課	少子・高齢社会において、生涯を通じてスポーツができる地域環境づくりの観点から、和弓道場のあり方について調査・研究を行うこととなっています。
事業の合計			

総コスト(千円) : 評価年度【28】			事務事業 の評価 (直近)【29】	26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
事業費	人件費					
8,230	7,413	817	改善・見直し (平成20年度)	中	市民のスポーツ実施率やスポーツ活動に対する満足度の向上を図るとともに、地域住民の交流、地域人材の育成、地域の安全力・教育力の向上などを促進することができる。	A
317,559	315,109	2,450	継続実施 (平成20年度)	中	指定管理者と連携を取りながら、市全体のスポーツ振興を図ることができる。	B
0	0	0	—	—	スポーツを通して子供たちの相互交流や、青少年の健全育成を図ることができる。	B
6,977	6,160	817	継続実施 (平成23年度)	中	スポーツ推進委員を育成し、地域の生涯スポーツ活動の支援を行い、市民の健康・体力の増進を図ることができる。	B
12,247	11,675	572	—	—	新規スポーツ施設の整備、移管により、スポーツ環境の向上を図ることができる。	A
4,022	3,777	245	事業化 (平成21年度)	—	市民が安全かつ快適にスポーツ・レクリエーション活動を行えるようにスポーツ環境整備の向上を図ることができる。	B
57,683	16,858	40,825	—	—	スポーツ祭東京2013(第68回国民体育大会)を契機に、市民のスポーツを楽しむ機会が増え、市のスポーツ振興と生涯スポーツの推進及び市民の健康増進に寄与することができる。	A
0	0	0	—	—	生涯スポーツの多様なニーズの一つとして、和弓道場のあり方を調査・研究を行う。	B
406,718	360,992	45,726				